

**（団体名を記載） 日本電気株式会社・株式会社スタジオゲクマガイ**  
**（提案タイトルを記載）**

【分野】 道路 / 橋梁 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【手法】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

『Well-Beingの向上とコミュニティ活性化によるグリーンインフラ実現支援』

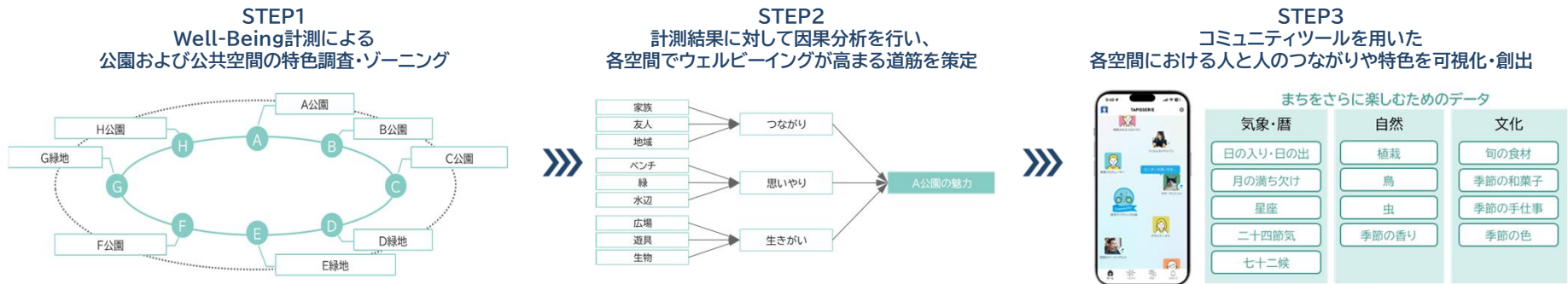
複数の公共施設でのウェルビーイングを高める分析を通じた、各空間における心地よい空間創出やコミュニティ形成に繋げるツールの活用による、まちの回遊性や相乗効果を実現

**①提案によって解決する地方公共団体が抱える課題イメージ**

- ・地方公共団体の課題：複数の公共空間（公園など）の利活用や活性化に悩んでおり、回遊性や持続性を担保した状態での土地活用（再開発・PFI等）を叶えたい。
- ・想定する自治体の人口規模・面積・立地等：人口規模の多寡は問わないが、上記のような課題を抱える中で、その場所を活用したコミュニティ形成やイベントの開催などの設計やルールメイキングが可能な自治体
- ・官民連携事業の対象となる公共施設等の規模等：公園を中心として想定し、その規模は問わないが複数であること。各空間ごとになるべく設計思想や利用用途・目的、来訪者の属性が異なっていることが望ましい。

**②提案の概要**

- ・提案の概要：指定された公共空間（≒エリア）におけるウェルビーイングを高めるための調査を行い、各空間における方向性を策定。それらを繋げるタッチポイントの提供と合わせて複数空間の横断的な活性化を図る
- ・提案の新規性：「ウェルビーイング」を軸とした分析観点により、多面的な空間設計の方向性を検証。日本の四季や歳時記をコミュニティツールに取り込むことで、土地の歴史や魅力を加味した価値創出が可能  
 公園等の公共空間周辺におけるウェルビーイングを分析することで、複数地点ごとの特色を踏まえた開発計画の在り方の検討や地域との合意形成を実現し、持続的な地域コミュニティの活性化に寄与
- ・従来手法との比較点：複数の公共空間に跨ることにより、回遊するストーリーや文脈の設計が可能になる。将来的には空間やコミュニティごとのデータを用いて、利用者目線での持続的な運営ノウハウや企画が可能
- ・提案の導入条件（期間、コストなど）：各エリア空間における分析工数、コミュニティツールに関する導入費用を想定。※STEP3（下記）については協議しながら進めていきたい



**③課題解決のイメージ・効果**

<各種効果>

- ・自治体への効果：複数空間の活性化と人流増加、民間委託の裾野および文脈拡大
- ・地域企業（民間企業）への効果：PFI機会の増加・公共空間利用者へのデジタルアプローチ手段獲得
- ・地域住民への効果：複数空間の回遊や四季を楽しむことでのウェルビーイング向上

**その他**

- ・本提案（Well-Being計測・分析）の取り組みに関するURL  
 (<https://wisdom.nec.com/ja/feature/smartcity/2024011101/index.html>)
- ・公共施設含めたエリア再整備を検討されている自治体様へご提案（ご相談展開中）